公 式 記 録

平成28年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技　準決勝 【 161 】

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

日 時	2016 年 6 月 3 日 (金) 11 : 00 キックオフ				会 場	アスパ五色 メイングラウンド			
天 候	晴れ	風	微風	ピッチ	天然芝・人工芝・クレー	状 態	良好	試合形式	70 分 ／ 延長 20 分 ／ PK戦 有
運営責任者	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司	記 録	田村 孝次 ／ 後藤 大輔			観 衆	400 人
主 審	深井 佳晶	副審1	寺岡 大輔	副審2	下園 達也	第4の審判員	仲上 公章		

チーム名				チーム名
滝川第二高校	1	1 前半 0	0	市立尼崎高校
kick off		0 後半 0		
		延前		
選手番号		延後		選手番号
○× 先	PK戦	PK戦		先 ○× PK戦

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					樫野 智哉 2年	41	GK	GK	1	田畑 公大 3年					分	
	分					日野 公貴 2年	26	DF	DF	2	葉杖 耕太 3年					分	
	分				1	今井 悠樹 3年	45	DF	DF	3	広沢 泰樹 2年					分	
	68 分			1	1	廣田 一磨 2年	87	DF	DF	4	松井 瞭汰 3年		1			分	
	68 分					浦元 快斗 3年	90	DF	DF	5	山根 萌 3年					分	
	分					神宮 浩気 3年	27	MF	DF	17	岩﨑 亮汰 2年					68 分	
	分			1	1*	山田 裕也 3年	31	MF	MF	7	一ノ瀬 貴博 3年					46 分	
	分					朴 光薫 2年	35	MF	MF	10	中野 賢司 3年					分	
	57 分				1	江口 颯 3年	70	MF	MF	15	野田 大介 2年					46 分	
	49 分			1	3	辻本 竜 2年	43	FW	FW	9	野林 敬宏 3年	1				分	
	分			1		持井 響太 3年	92	FW	FW	11	新角 友規 3年					分	
	分					西垣 悠暉 1年	1	GK	GK	25	森本 直樹 2年					分	
87	分					上出 直人 2年	33	DF	DF	13	中西 優仁 3年					分	
	分					森 勇人 3年	75	DF	MF	6	藤野 智也 3年					分	
90	分					柏原 悠人 1年	6	MF	MF	16	松角 尚悟 2年		1			分	7
	分					福嶋 一輝 2年	29	MF	MF	18	清内 衛 2年					分	
	分					森下 義雄 3年	44	MF	MF	21	宮前 秀宇 2年		1			分	15
	分					加藤 広康 2年	51	MF	MF	24	三輪 凜大 2年					分	17
70	分					奥野 虎太郎 3年	30	FW	FW	14	谷内 宥稀 3年					分	
43	分					溝田 大輝 3年	78	FW	FW	23	羽當 瑛智 2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
28 分	警	90	浦元 快斗	ラフ	11			4	7	シュート	1	3			4	66 分	警	9	野林 敬宏	ラフ
59 分	警	31	山田 裕也	遅延	5			4	1	ＧＫ	3	5			8	分				
分					7			1	6	ＣＫ	0	0			0	分				
分					11			4	7	直接ＦＫ	3	9			12	分				
分					3			2	1	間接ＦＫ	1	3			4	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

時間	チーム	No.	得点者	スコア	［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS
33 分	滝川第二	31	山田	1 － 0	右CK 92 ∩ 中央 43 H × 31 S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 葺合・柳 】　氏名 【 谷 知典・陳 洋平 】

滝川二、市尼崎ともに４－４－２のフォーメーションで試合を始める。トスで風下を選んだ市尼崎は⑨野林⑪新角の二人を前線に残し、PAまで相手を引き込みロングカウンターを狙う。前線を２人残すことにより1stDFが決まりにくくなり、ボールを簡単にゴール前に運ばれるが、DFラインが粘り強く体を張って簡単にフィニッシュを決めさせない。一方、滝川第二はシンプルにボールを動かし、サイドに起点をつくり攻撃をしかける。相手のバイタルエリアに効果的なパスを入れることができずカウンターを受けることもあったが、サイドの43辻本70江口の仕掛けやクロスからフィニッシュを演出する。FKの精度も高くゴールを脅かし続け、CKから得点し前半を折り返す。後半、市尼崎が、45分の選手交代を機に前線の流動性が生まれ決定機を作り出すも決めきれなかった。その後はお互いに球際の厳しさも増してゴール前に簡単にボールを運べず、膠着した状態が続く。そして、１－０のまま試合は終了した。個々の特徴を生かして勝ちきった滝川二の決勝戦での健闘を祈るとともに、最後まであきらめず走りきった市尼崎には、近畿大会の兵庫県代表をかけた三位決定戦での活躍を期待したい。

［備 考］